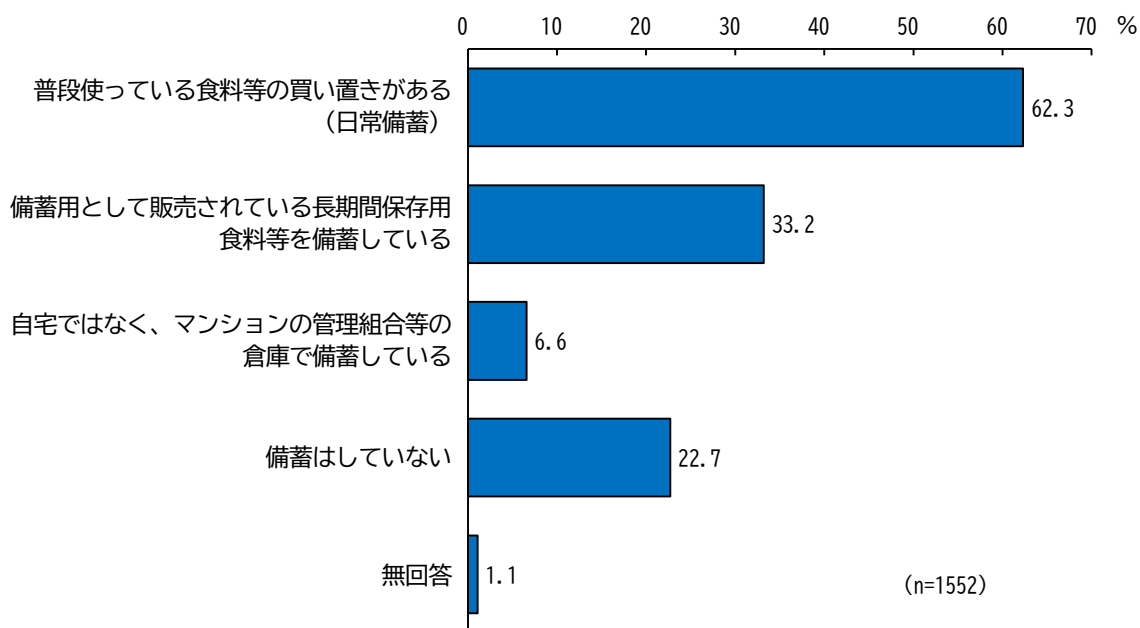


## 4. 防災対策

### (1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄

◇「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」が6割強

問9 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。  
（「1」、「2」、「3」は、○はいくつでも）



災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について聞いたところ、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」（62.3%）が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」（33.2%）が3割となっている。一方、「備蓄はしていない」（22.7%）は2割強を占める。

年代別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は18～29歳（47.8%）と30～39歳（49.5%）が4割台と低く、他の年齢層は6割台と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は30～39歳（42.1%）と40～49歳（41.2%）が4割強と高くなっている。「備蓄はしていない」は18～29歳（38.9%）が4割近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 年代別

単位：％

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体（n=1552）		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
年代別	18～29歳（n=157）	47.8	23.6	3.2	38.9	0.0
	30～39歳（n=214）	49.5	42.1	6.1	24.3	0.9
	40～49歳（n=272）	67.3	41.2	9.9	12.9	0.0
	50～59歳（n=293）	62.5	30.0	8.2	25.6	0.7
	60～69歳（n=225）	69.8	30.7	7.1	21.3	0.4
	70～79歳（n=239）	67.4	33.1	5.0	21.3	1.7
	80歳以上（n=141）	68.1	29.1	3.5	18.4	5.0

同居世帯の構成別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は三世代家族（66.7%）が6割半ばを超え最も高く、「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は夫婦のみ（37.9%）が4割近くで最も高くなっている。「備蓄はしていない」はその他（32.9%）が3割強、一人暮らし（29.6%）が3割弱と高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 同居世帯の構成別

単位：％

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体（n=1552）		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
同居世帯の構成別	一人暮らし（n=351）	61.0	24.5	3.7	29.6	0.9
	夫婦のみ（n=398）	60.1	37.9	7.3	22.9	1.8
	二世代家族（n=620）	65.6	36.9	9.5	17.1	0.6
	三世代家族（n=66）	66.7	36.4	0.0	24.2	0.0
	その他（n=76）	50.0	26.3	1.3	32.9	0.0

ライフステージ別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は家族成長前期（69.5%）と高齢期（69.1%）が7割弱と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は家族成長前期（48.4%）が5割近くと最も高く、次いで家族形成期（40.9%）が4割となっている。「備蓄はしていない」は一人暮らし（34.8%）が3割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 ライフステージ別

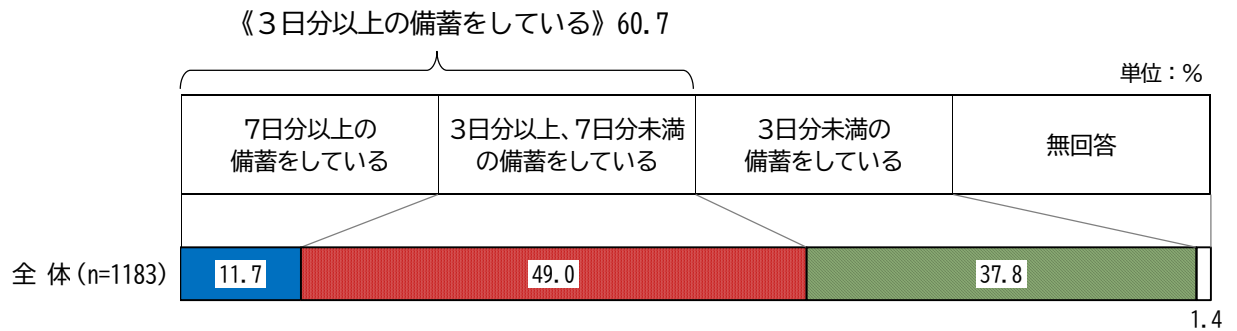
単位：％

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
	全体（n=1552）	62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
ライフステージ別	家族形成期（n=186）	54.8	40.9	6.5	24.7	0.5
	家族成長前期（n=128）	69.5	48.4	13.3	7.0	0.8
	家族成長後期（n=117）	68.4	38.5	9.4	17.1	0.0
	家族成熟期（n=112）	60.7	18.8	8.0	29.5	0.0
	高齢期（n=236）	69.1	33.1	6.8	19.5	2.1
	高齢期（一人暮らし）（n=141）	68.8	24.8	2.1	22.7	2.1
	一人暮らし（n=201）	54.7	23.9	5.0	34.8	0.0
	その他（n=431）	59.9	35.0	5.6	22.3	1.6

(1-1) 災害時に備えた備蓄の量

◇《3日分以上の備蓄をしている》が6割強

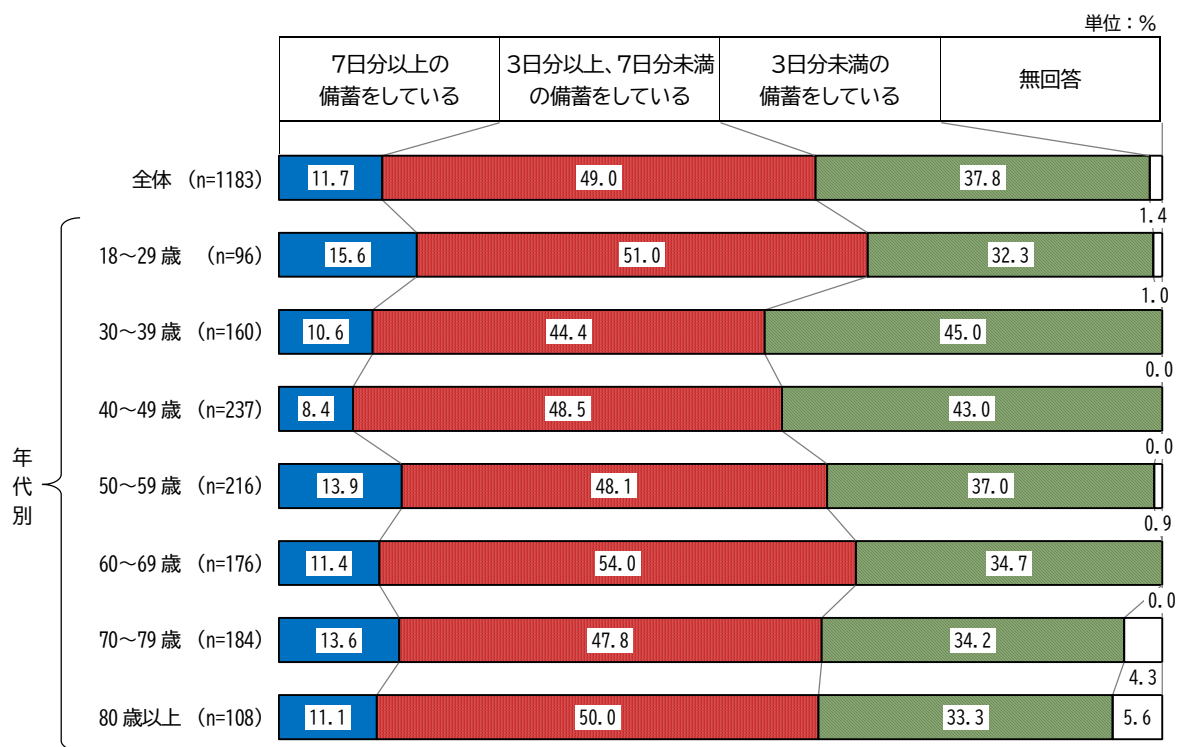
問9-1 (問9で「1」～「3」とお答えの方に伺います)  
何日分の備蓄をしていますか。(○は1つだけ)



災害時に備えた備蓄の量について聞いたところ、「7日分以上の備蓄をしている」(11.7%)と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(49.0%)を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》(60.7%)は6割強となっている。

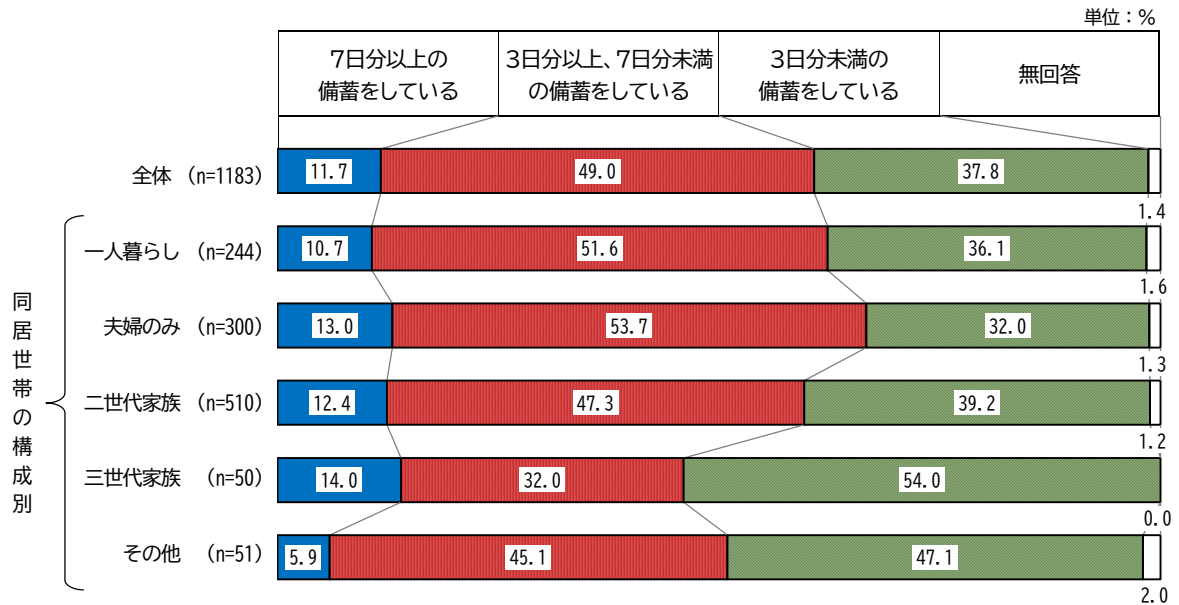
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は18～29歳（15.6%）が1割半ばで最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は60～69歳（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は30～39歳（45.0%）が4割半ばと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 年代別



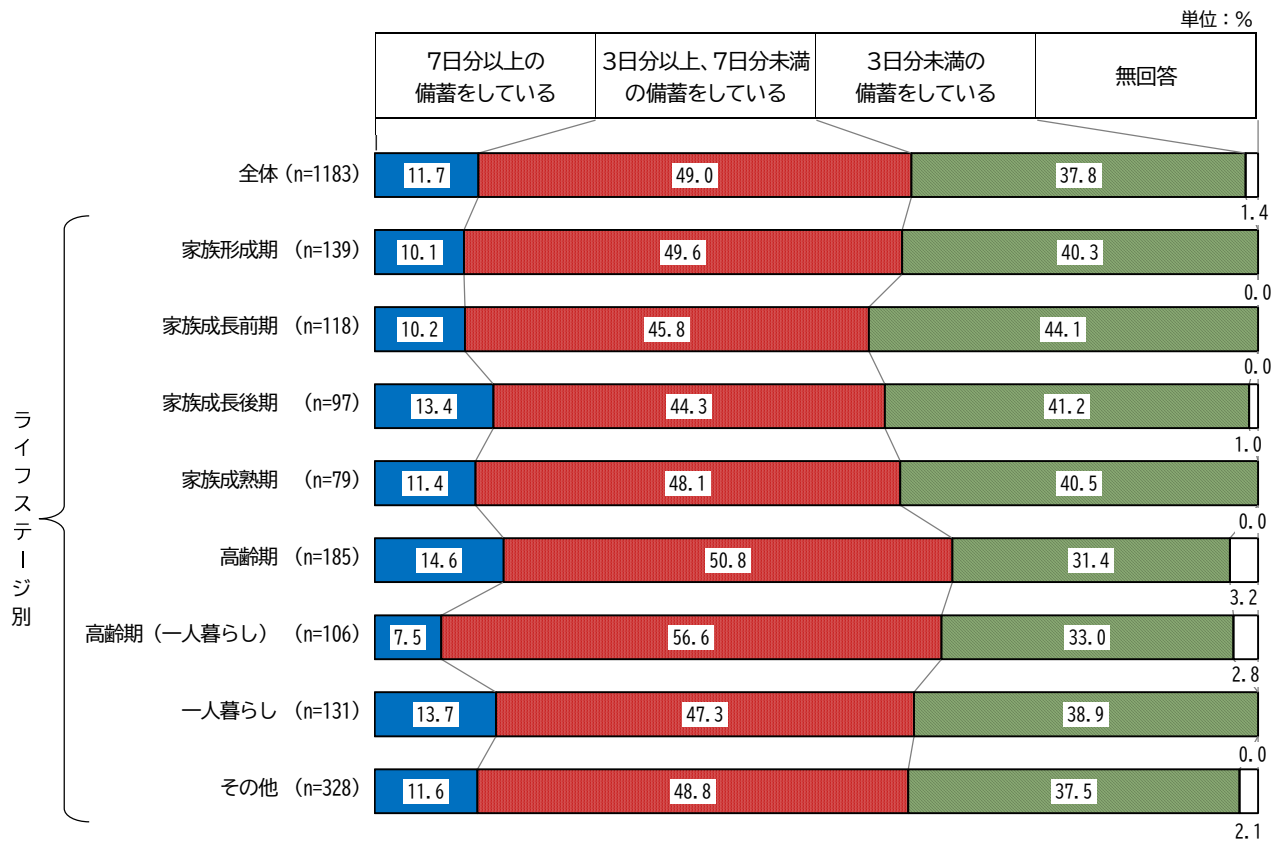
同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（14.0%）が1割半ば近くと最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は夫婦のみ（53.7%）が5割半ば近く、一人暮らし（51.6%）が5割強と高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は高齢期（14.6%）、一人暮らし（13.7%）、家族成長後期（13.4%）が1割半ば近くとなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は高齢期（一人暮らし）（56.6%）が5割半ばを超えて最も高く、「3日分未満の備蓄をしている」は家族成長前期（44.1%）が4割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 ライフステージ別

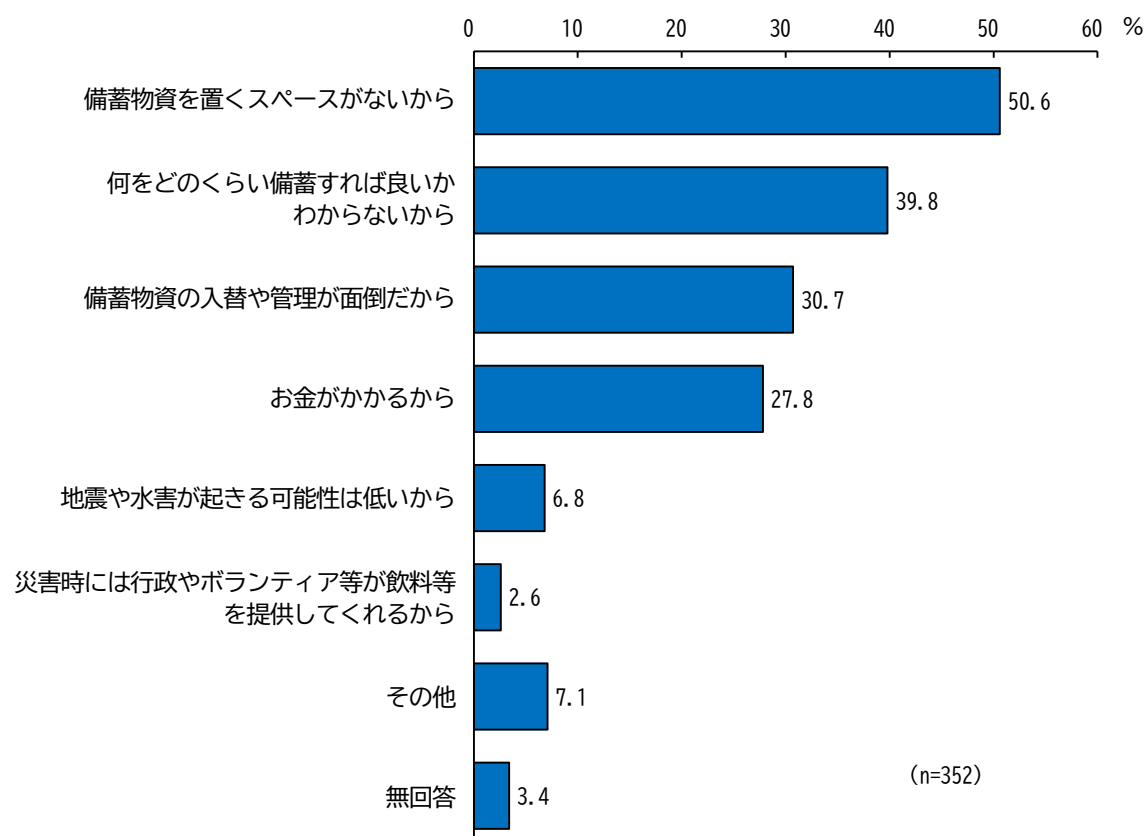


(1-2) 備蓄を行っていない理由

◇「備蓄物資を置くスペースがないから」が5割

問9-2 (問9で「4」とお答えの方に伺います)

食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)



備蓄を行っていない理由について聞いたところ、「備蓄物資を置くスペースがないから」(50.6%)が5割と最も高く、以下、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(39.8%)、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」(30.7%)が続いている。



年代別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、40～49歳（80.0%）が8割と最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60～69歳（56.3%）が5割半ばを超え、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は70～79歳（39.2%）が4割弱と高くなっている。「お金がかかるから」は40～49歳（40.0%）が4割と最も高くなっている。

備蓄を行っていない理由 年代別

単位：％

	備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
年代別								
18～29歳 (n=61)	57.4	31.1	24.6	36.1	3.3	1.6	1.6	3.3
30～39歳 (n=52)	55.8	32.7	34.6	23.1	11.5	1.9	9.6	1.9
40～49歳 (n=35)	80.0	45.7	25.7	40.0	5.7	0.0	5.7	0.0
50～59歳 (n=75)	52.0	40.0	26.7	29.3	5.3	0.0	9.3	2.7
60～69歳 (n=48)	43.8	56.3	35.4	18.8	8.3	4.2	2.1	2.1
70～79歳 (n=51)	35.3	35.3	39.2	23.5	11.8	9.8	9.8	5.9
80歳以上 (n=26)	30.8	42.3	34.6	26.9	0.0	0.0	11.5	7.7

同居世帯の構成別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」は三世代家族（62.5%）が6割強、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世代家族（50.0%）が5割と最も高くなっている。「お金がかかるから」は一人暮らし（30.8%）と二世代家族（30.2%）が3割台と高くなっている。

備蓄を行っていない理由 同居世帯の構成別

単位：％

	備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
同居世帯の構成別								
一人暮らし (n=104)	49.0	30.8	31.7	30.8	4.8	1.0	10.6	1.9
夫婦のみ (n=91)	51.6	38.5	29.7	24.2	11.0	2.2	3.3	4.4
二世代家族 (n=106)	51.9	50.0	31.1	30.2	8.5	4.7	4.7	2.8
三世代家族 (n=16)	62.5	43.8	37.5	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5
その他 (n=25)	48.0	36.0	24.0	28.0	0.0	4.0	12.0	0.0

ライフステージ別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、家族成熟期（57.6%）が5割半ばを超え最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は家族成熟期（54.5%）と高齢期（52.2%）が5割台、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は高齢期（一人暮らし）（43.8%）が4割半ば近くとなっている。「お金がかかるから」は家族成長後期（40.0%）が4割と高くなっている。

### 備蓄を行っていない理由 ライフステージ別

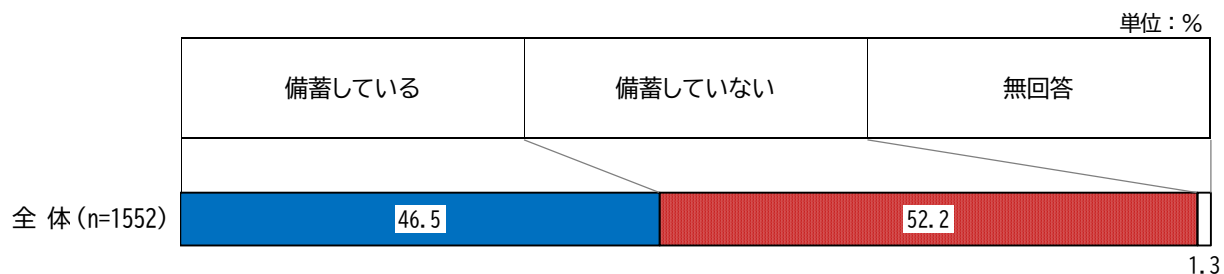
単位：％

		備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体（n=352）		50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
ライフステージ別	家族形成期（n=46）	56.5	39.1	28.3	17.4	6.5	0.0	4.3	0.0
	家族成長前期（n=9）	55.6	33.3	44.4	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1
	家族成長後期（n=20）	55.0	30.0	20.0	40.0	5.0	10.0	5.0	5.0
	家族成熟期（n=33）	57.6	54.5	33.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	高齢期（n=46）	45.7	52.2	28.3	17.4	10.9	6.5	4.3	6.5
	高齢期（一人暮らし）（n=32）	34.4	40.6	43.8	28.1	6.3	0.0	9.4	6.3
	一人暮らし（n=70）	55.7	25.7	27.1	32.9	4.3	1.4	11.4	0.0
	その他（n=96）	47.9	41.7	31.3	30.2	6.3	3.1	7.3	5.2

## (2)災害用トイレの備蓄

◇「備蓄していない」が5割強

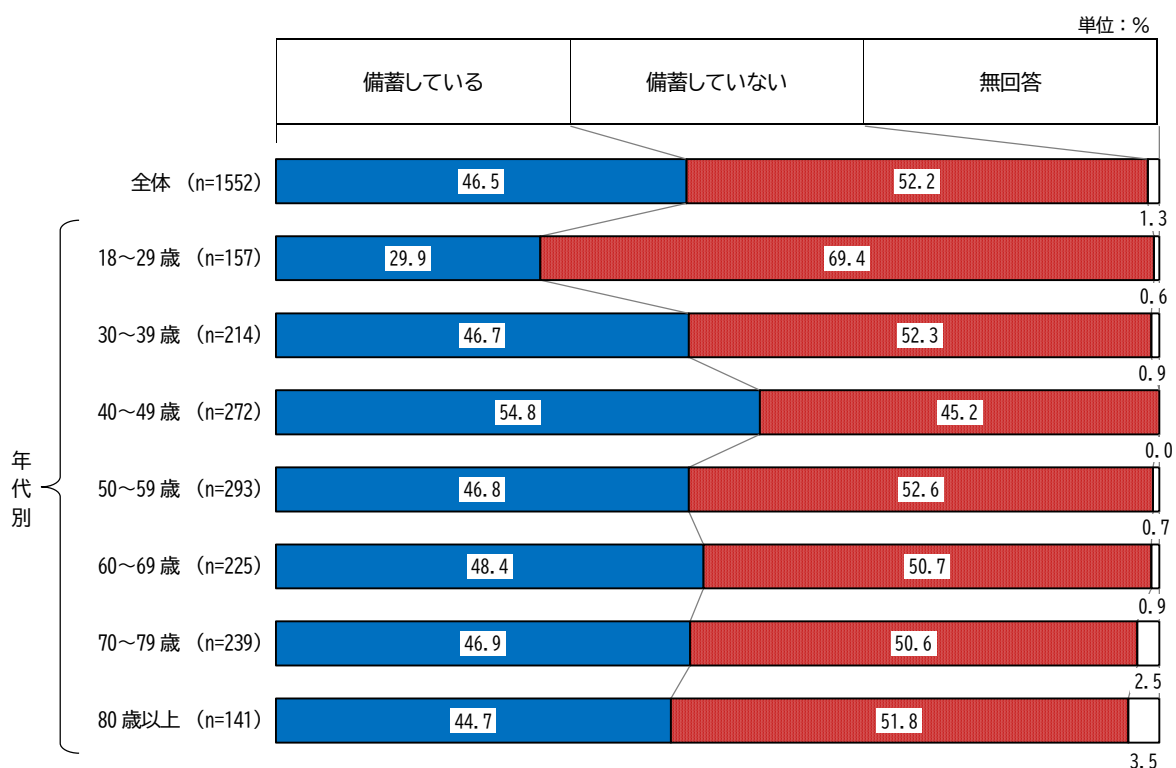
問 10 あなたの家庭では、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。  
（○は1つだけ）



災害用トイレの備蓄について聞いたところ、「備蓄していない」（52.2％）は5割強を占める。一方、「備蓄している」（46.5％）も5割に近くなっている。

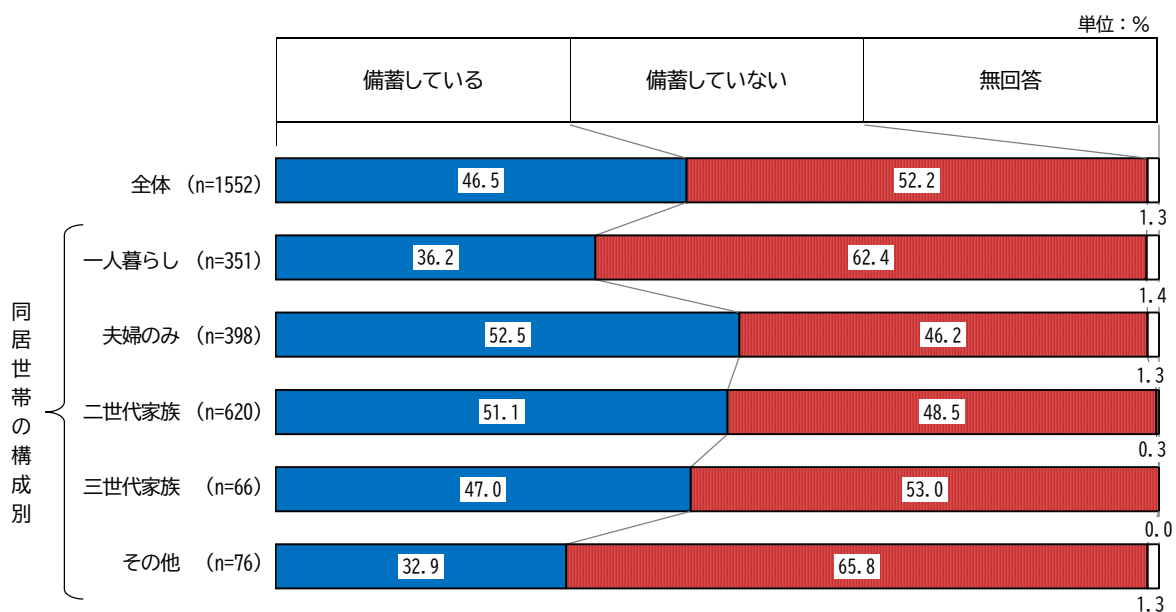
年代別でみると、「備蓄している」は40～49歳（54.8%）が5割半ば近くと最も高くなっている。一方、「備蓄していない」は18～29歳（69.4%）が7割弱と最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄 年代別



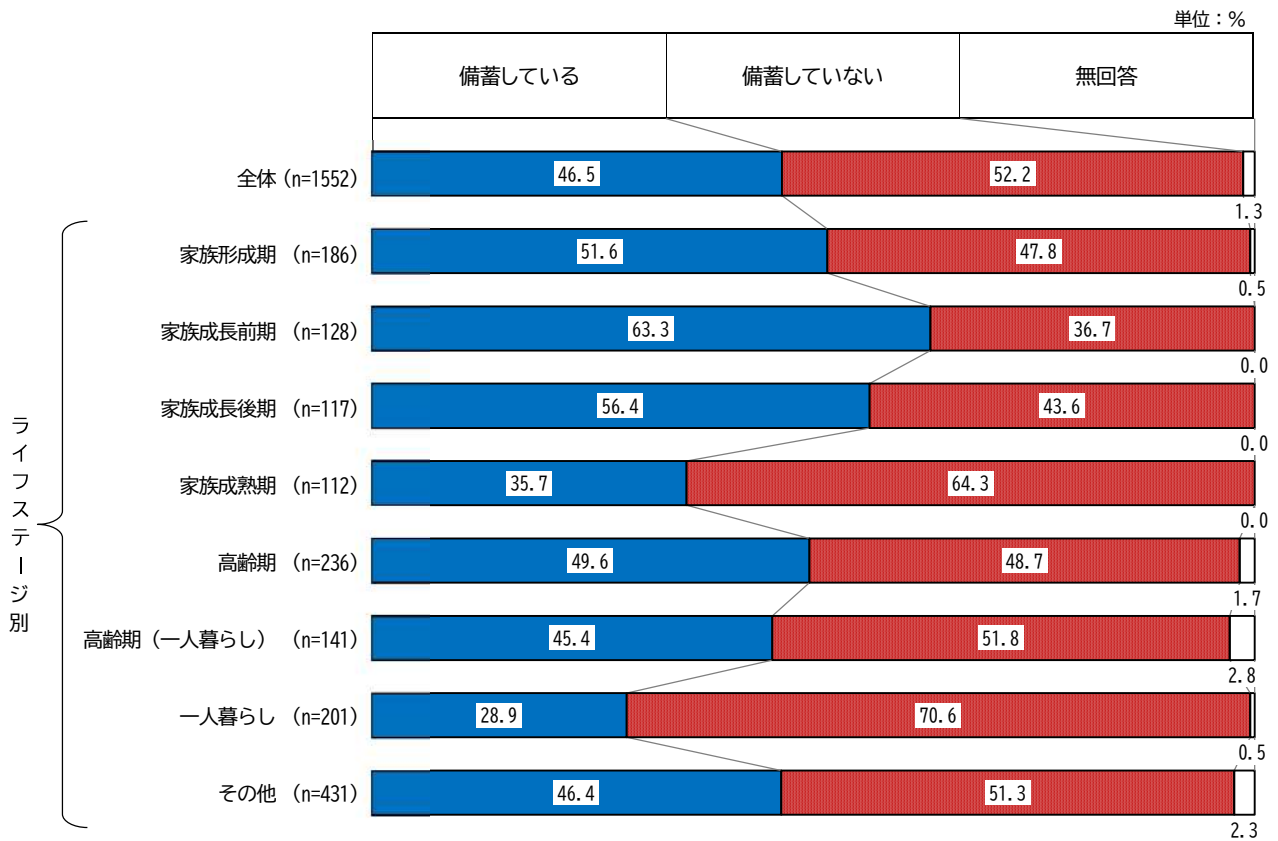
同居世帯の構成別でみると、「備蓄している」は夫婦のみ（52.5%）、二世世代家族（51.1%）が5割強と高くなっており、一人暮らし（36.2%）とその他（32.9%）は3割台にとどまっている。

災害用トイレの備蓄 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「備蓄している」は家族成長前期（63.3%）が6割半ば近く、家族成長後期（56.4%）が5割半ばを超えている。一方、家族成熟期（35.7%）と一人暮らし（28.9%）は他のライフステージに比べ低くなっている。

災害用トイレの備蓄 ライフステージ別

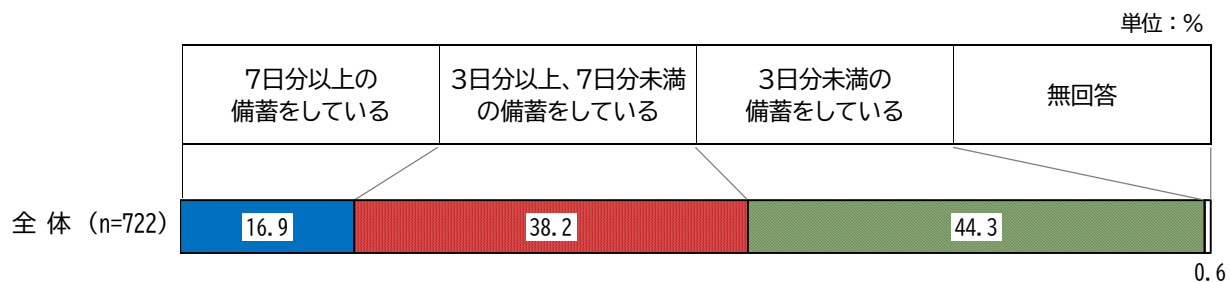


## (2-1)災害用トイレの備蓄の量

◇「3日分未満の備蓄をしている」が4割強

問10-1 (問10で「1」とお答えの方に伺います)

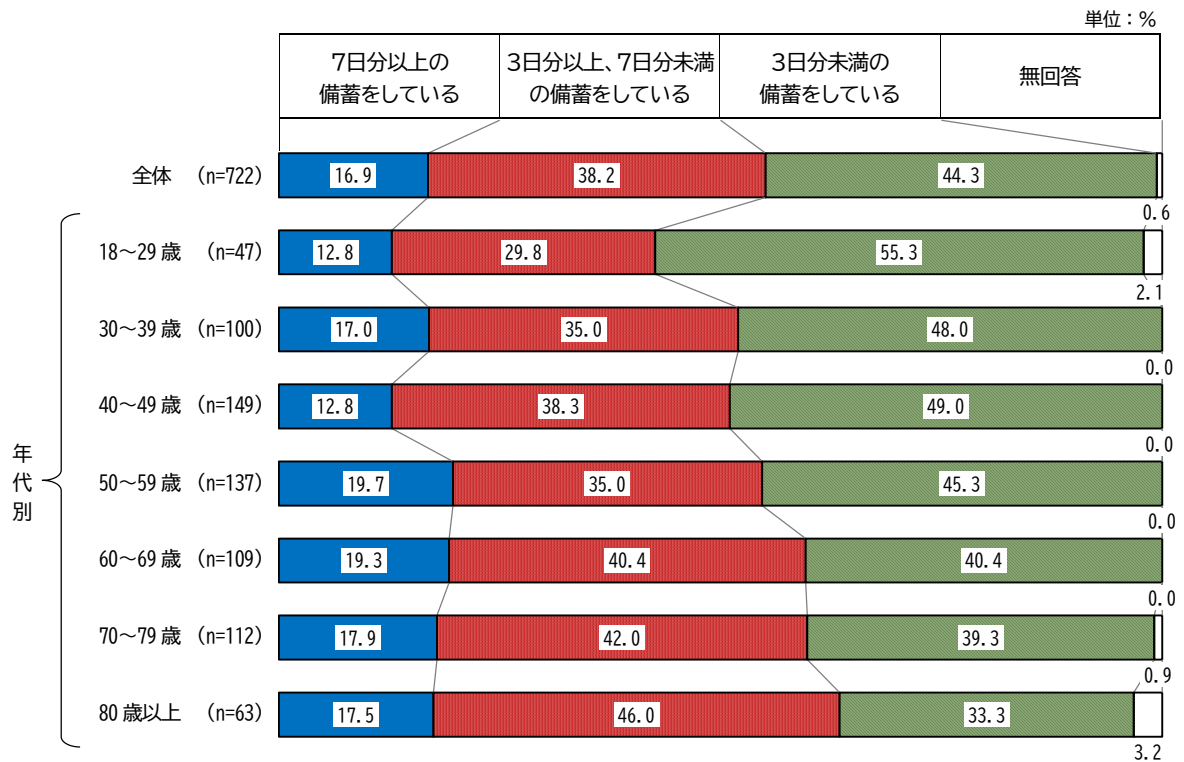
トイレの平均回数は、大人1日5回とされています。何日分の災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。（○は1つだけ）



災害用トイレの備蓄の量について聞いたところ、「3日分未満の備蓄をしている」（44.3％）が4割強と最も高く、次いで「3日以上、7日分未満の備蓄をしている」（38.2％）が4割近くとなっている。「7日分以上の備蓄をしている」（16.9％）は1割半ばを超えている。

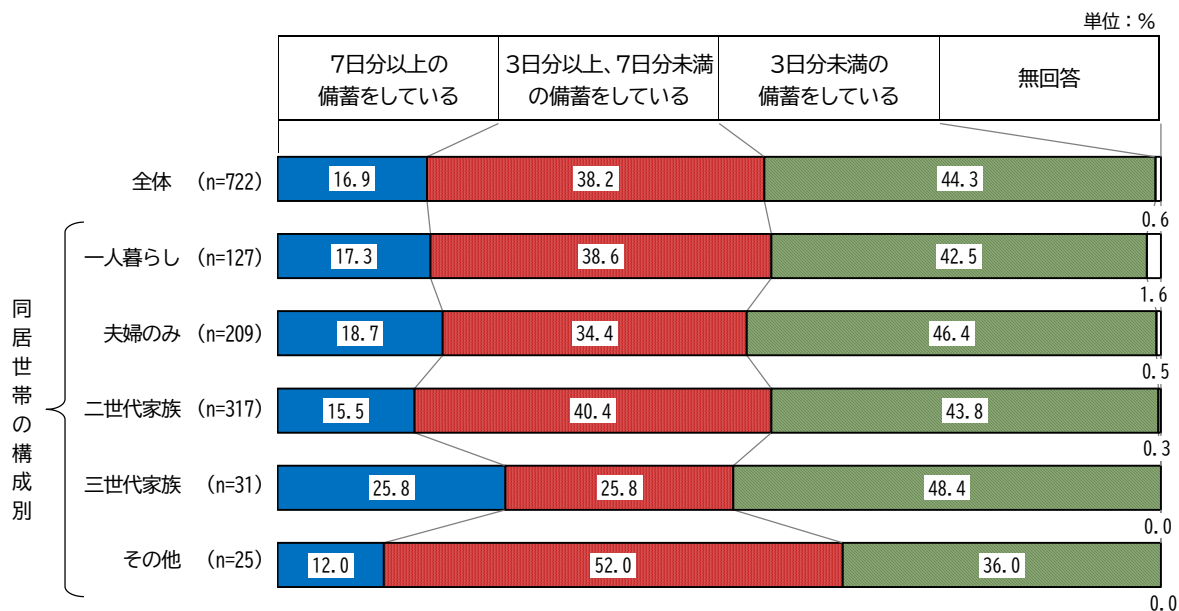
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は50～59歳（19.7%）と60～69歳（19.3%）が2割弱と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は80歳以上（46.0%）で4割半ばを超えて最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は18～29歳（55.3%）で5割半ばと最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 年代別



同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（25.8%）が2割半ばと最も高く、次いで夫婦のみ（18.7%）が2割近くと高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は二世世代家族（40.4%）が4割、「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（48.4%）が5割近くと高くなっている。

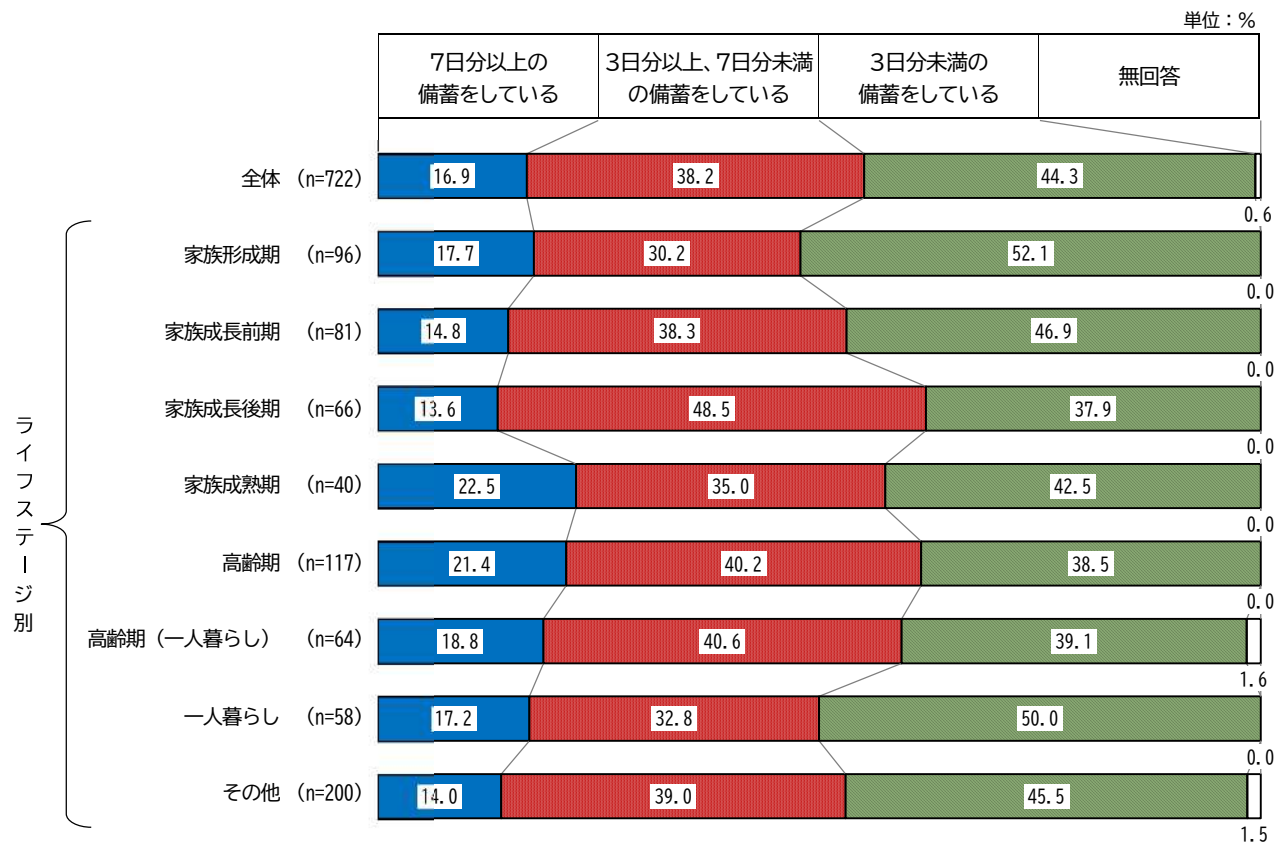
災害用トイレの備蓄の量 同居世帯の構成別





ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は家族成熟期（22.5%）と高齢期（21.4%）が2割強と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は家族成長後期（48.5%）が5割近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は家族形成期（52.1%）が5割強、一人暮らし（50.0%）が5割と高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 ライフステージ別

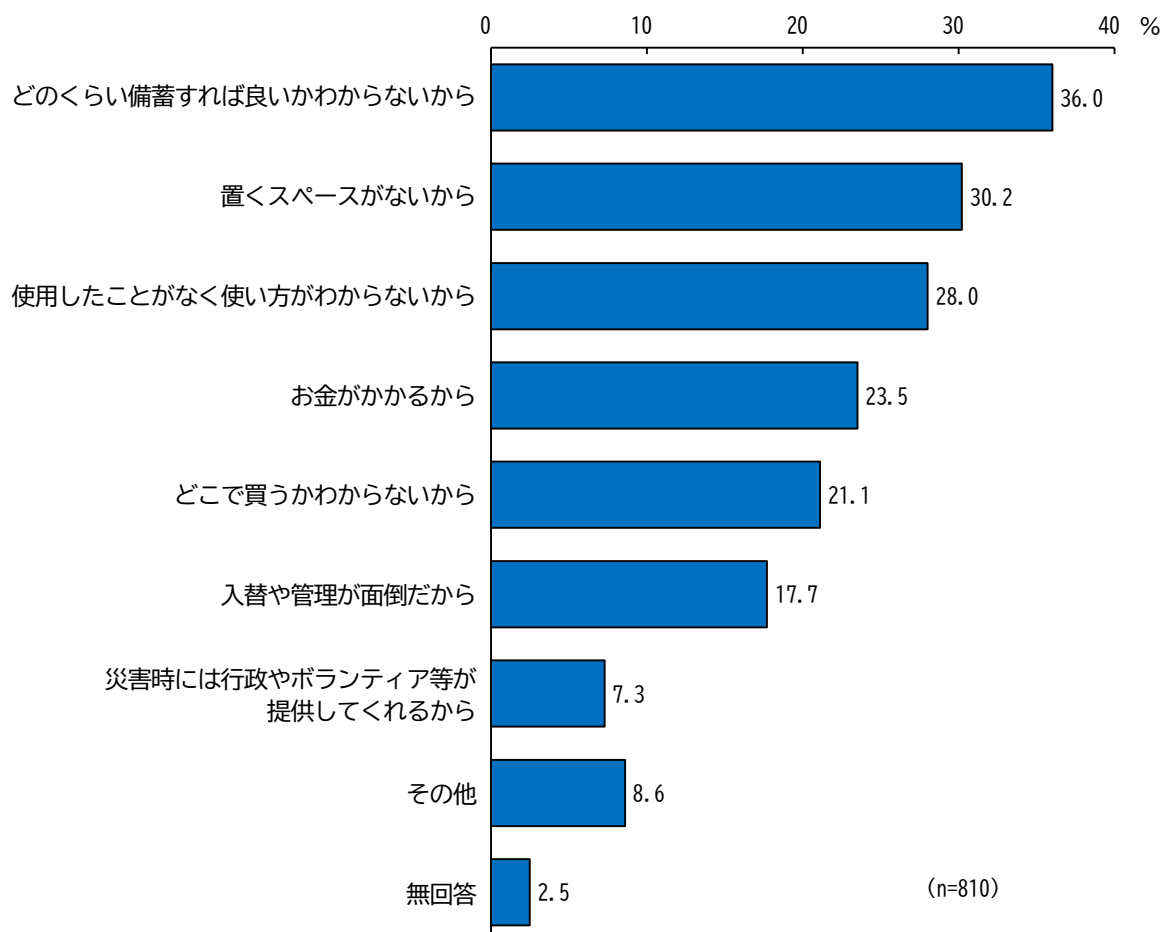


## (2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由

◇「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」が4割近く

問10-2 (問10で「2」とお答えの方に伺います)

災害用トイレ(携帯トイレ、簡易トイレ)を備蓄していない理由を次の中から選びください。(〇はいくつでも)



災害用トイレを備蓄していない理由について聞いたところ、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(36.0%)が4割近く最も高く、以下、「置くスペースがないから」(30.2%)、「使用したことがなく使い方がわからないから」(28.0%)が続いている。

年代別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60歳以上が4割台、「置くスペースがないから」は18～59歳が3割台と高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は50歳以上が3割台と他の年齢層より高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 年代別

単位：％

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
年代別									
18～29歳 (n=109)	25.7	35.8	21.1	24.8	23.9	19.3	4.6	4.6	1.8
30～39歳 (n=112)	33.9	34.8	25.9	25.0	15.2	23.2	8.0	6.3	0.9
40～49歳 (n=123)	29.3	39.0	18.7	24.4	19.5	17.1	4.1	14.6	0.0
50～59歳 (n=154)	34.4	32.5	30.5	29.9	18.8	14.9	7.8	7.8	1.3
60～69歳 (n=114)	43.9	26.3	31.6	21.9	22.8	18.4	8.8	7.9	0.9
70～79歳 (n=121)	44.6	19.8	35.5	18.2	24.8	16.5	8.3	9.1	8.3
80歳以上 (n=73)	42.5	20.5	34.2	16.4	24.7	15.1	11.0	11.0	2.7

同居世帯の構成別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世世代家族（41.2％）が4割強で最も高くなっている。「置くスペースがないから」は三世世代家族（34.3％）が3割半ば近く、「使用したことがなく使い方がわからないから」は二世世代家族（32.9％）とその他（32.0％）が3割強と高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 同居世帯の構成別

単位：％

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
同居世帯の構成別									
一人暮らし (n=219)	29.2	29.7	24.2	23.7	25.6	17.8	5.9	9.1	0.9
夫婦のみ (n=184)	35.3	29.9	24.5	22.8	19.0	16.3	7.6	8.2	4.9
二世世代家族 (n=301)	41.2	29.9	32.9	22.9	20.3	17.9	7.6	9.0	1.7
三世世代家族 (n=35)	37.1	34.3	28.6	31.4	22.9	20.0	8.6	2.9	2.9
その他 (n=50)	38.0	32.0	32.0	24.0	16.0	20.0	10.0	12.0	0.0

ライフステージ別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は高齢期（44.3%）が4割半ば近く、「置くスペースがないから」は家族成熟期（37.5%）が3割半ばを超えて高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は高齢期（38.3%）が4割近く、高齢期（一人暮らし）（37.0%）が3割半ばを超えて高くなっている。

### 災害用トイレを備蓄していない理由 ライフステージ別

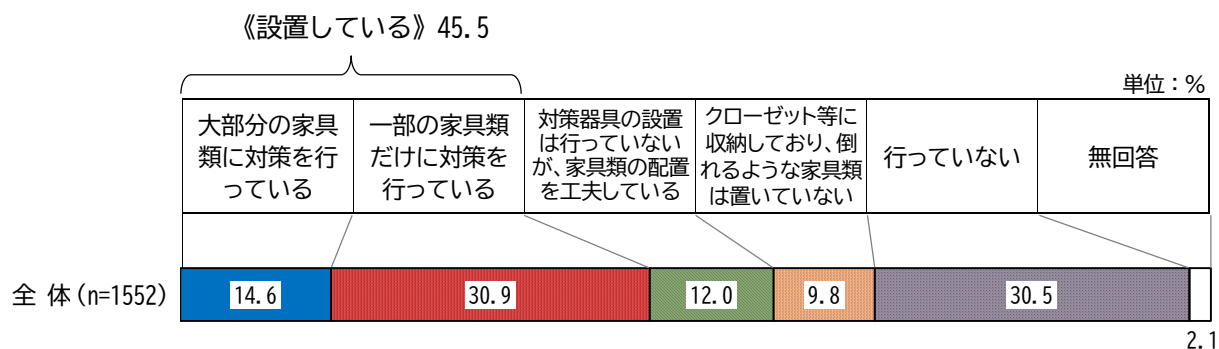
単位：％

		どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
	全体（n=810）	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
ライフステージ別	家族形成期（n=89）	33.7	32.6	23.6	20.2	19.1	22.5	3.4	5.6	1.1
	家族成長前期（n=47）	40.4	23.4	25.5	19.1	14.9	25.5	4.3	17.0	2.1
	家族成長後期（n=51）	35.3	33.3	27.5	31.4	21.6	13.7	13.7	5.9	0.0
	家族成熟期（n=72）	33.3	37.5	30.6	30.6	15.3	13.9	5.6	6.9	2.8
	高齢期（n=115）	44.3	26.1	38.3	16.5	22.6	19.1	11.3	5.2	6.1
	高齢期（一人暮らし）（n=73）	39.7	19.2	37.0	17.8	28.8	15.1	5.5	12.3	2.7
	一人暮らし（n=142）	23.9	34.5	16.9	26.8	23.9	19.7	6.3	7.7	0.0
	その他（n=221）	39.4	30.8	28.5	24.9	19.9	14.9	7.7	10.4	3.2

### (3) 家具の転倒・落下防止

◇《設置している》が4割を超える、「行っていない」が3割

問 11 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具による対策を行っていますか。(○は1つだけ)

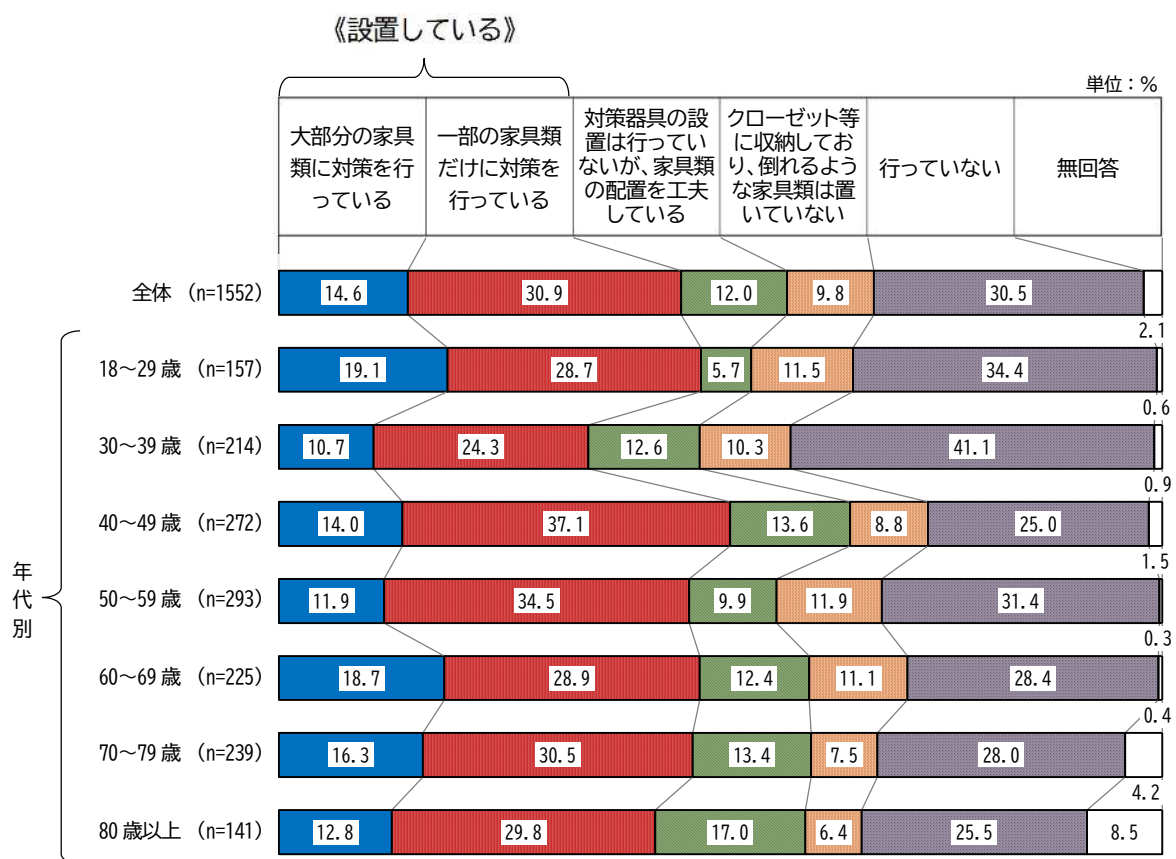


(注) 《設置している》＝「大部分の家具類に対策を行っている」＋「一部の家具類だけに対策を行っている」

家具の転倒・落下防止について聞いたところ、「一部の家具類だけに対策を行っている」(30.9%)と「大部分の家具類に対策を行っている」(14.6%)を合わせた《設置している》(45.5%)は4割を超えている。「対策器具の設置は行っていないが、家具類の配置を工夫している」(12.0%)が1割強、「クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない」(9.8%)は1割弱となっている。一方、「行っていない」(30.5%)は3割となっている。

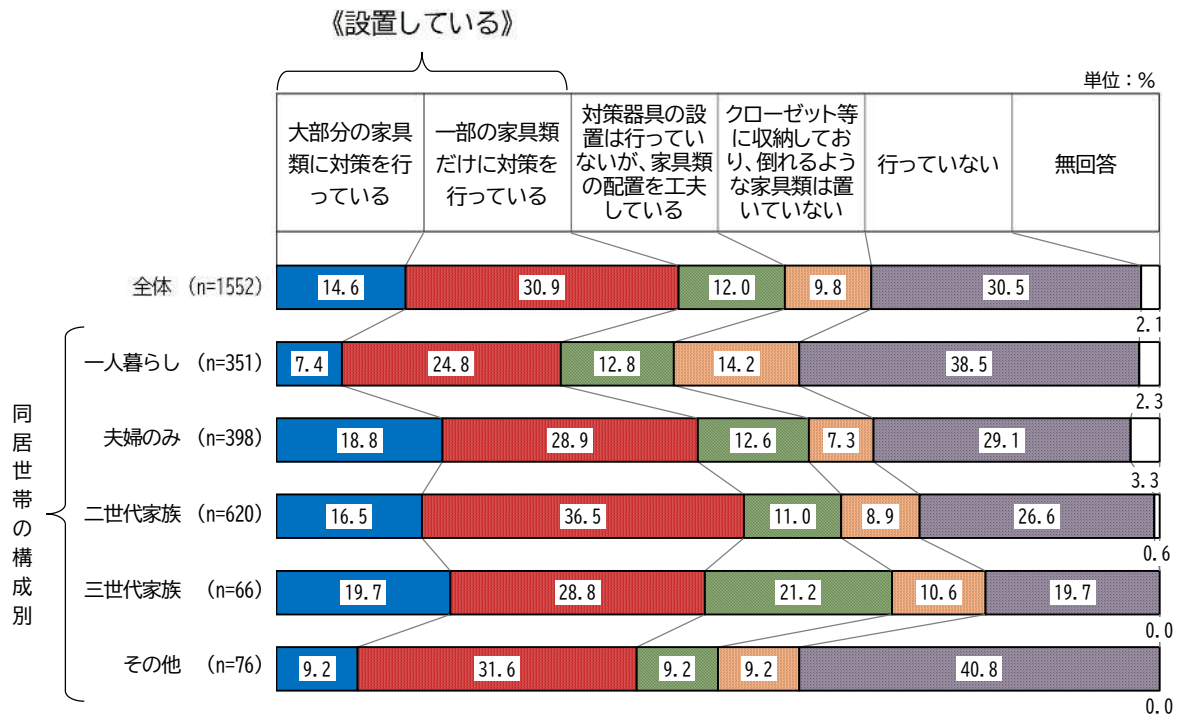
年代別でみると、《設置している》は40～49歳（51.1%）が5割強と最も高くなっている。「行っていない」は30～39歳（41.1%）が4割強と最も高く、18～29歳（34.4%）も3割半ば近くとなっている。

### 家具の転倒・落下防止 年代別



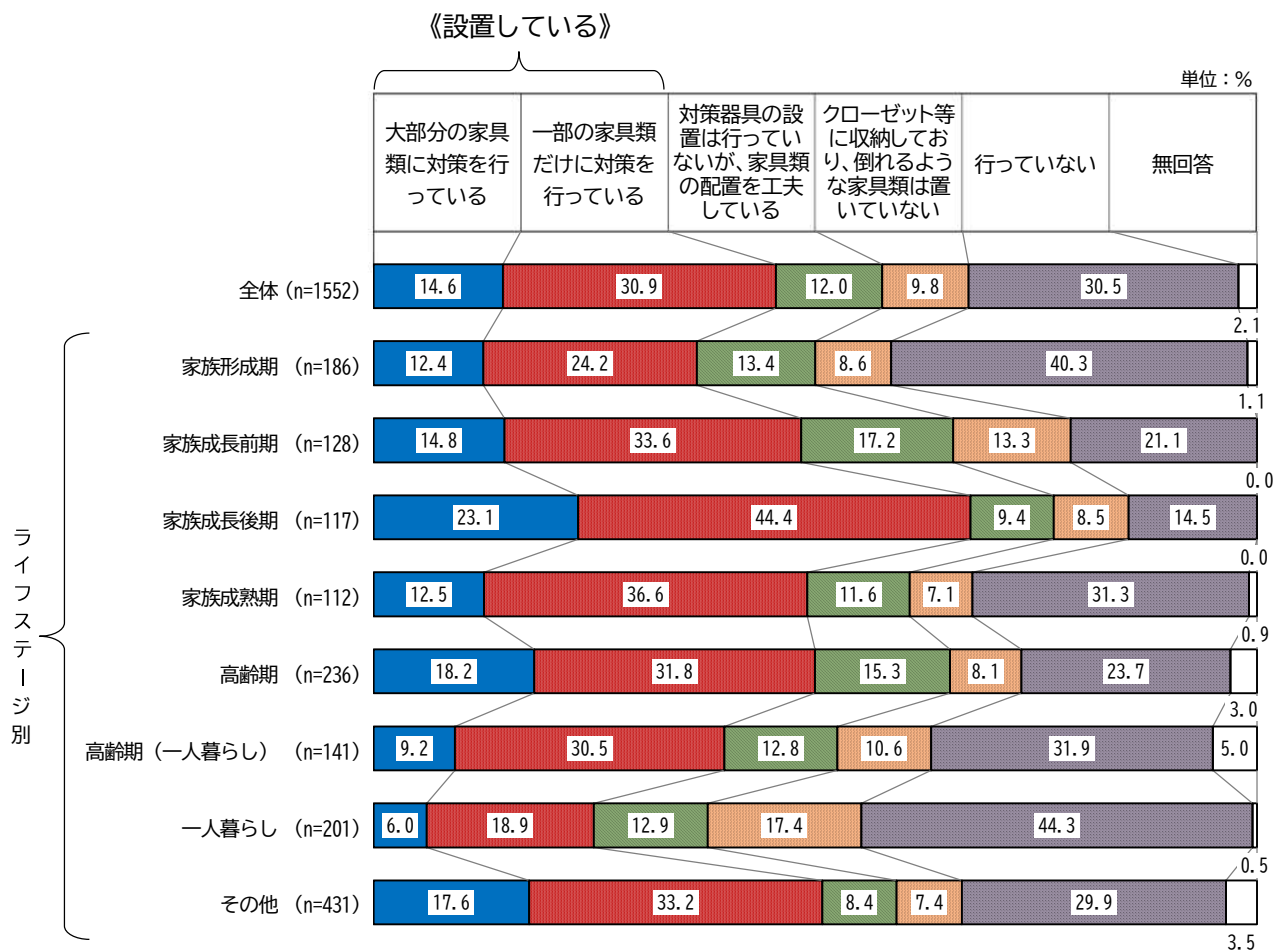
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は二世世代家族（53.0%）が5割強と最も高く、三世世代家族（48.5%）も5割近くと高くなっている。「行っていない」はその他（40.8%）が4割、一人暮らし（38.5%）が4割近くと高くなっている。

### 家具の転倒・落下防止 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は家族成長後期（67.5%）が6割半ばを超えて最も高くなっている。「行っていない」は一人暮らし（44.3%）が4割半ば近く、家族形成期（40.3%）、が4割と高くなっている。

### 家具の転倒・落下防止 ライフステージ別



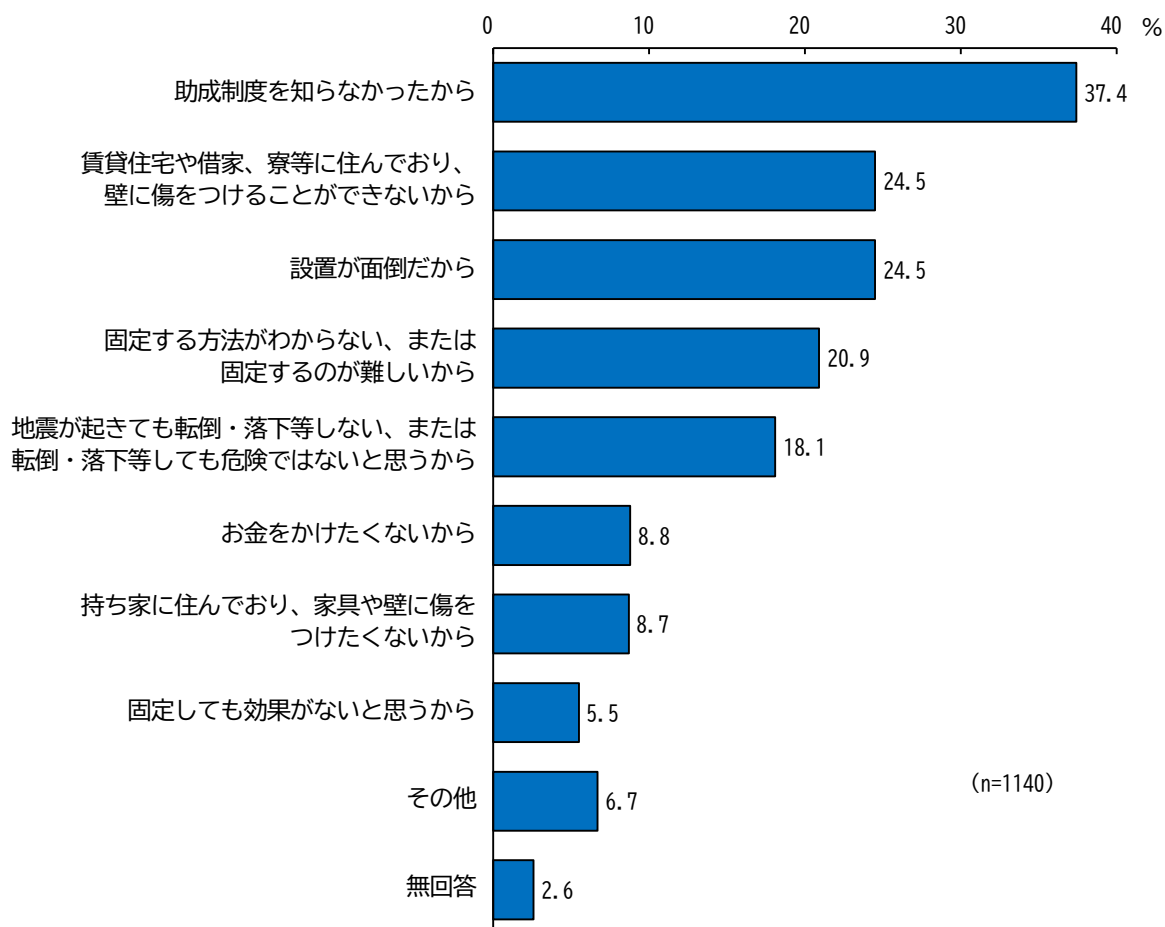


### (3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問11-1 (問11で「2」、「3」、「5」とお答えの方に伺います)

区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円(条件有)の助成金が出る制度がありますが、一部の家具類だけに設置を行っている、または設置を行っていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)



家具の転倒・落下防止器具の未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(37.4%)が4割近くで最も高く、以下、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」(24.5%)、「設置が面倒だから」(24.5%)、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」(20.9%)が続いている。

年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は30～49歳が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は18～39歳が3割台と高くなっている。「設置が面倒だから」は80歳以上（19.6%）を除くすべての年齢層で2割台となっている。「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は80歳以上（35.3%）が3割半ばと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 年代別

単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 壁に傷をつ けることが できないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない、 または固 定するのが 難しいか ら	地震が起 きても転 倒・落下 等しない、 または転 倒・落下 等しても 危険では ないと思 うから	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
全体 (n=1140)		37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
年代別	18～29歳 (n=108)	26.9	37.0	26.9	14.8	18.5	14.8	2.8	1.9	4.6	2.8
	30～39歳 (n=167)	42.5	37.7	28.7	15.6	12.6	9.0	8.4	3.6	2.4	1.8
	40～49歳 (n=206)	40.8	25.7	25.7	19.9	18.4	6.8	10.7	4.4	8.7	0.0
	50～59歳 (n=222)	34.2	20.3	23.4	18.5	18.5	9.0	14.0	3.6	11.3	1.4
	60～69歳 (n=157)	39.5	21.0	23.6	22.3	19.7	9.6	10.2	10.8	5.1	1.3
	70～79歳 (n=172)	39.0	18.0	23.3	24.4	22.1	9.3	5.2	7.0	5.2	6.4
	80歳以上 (n=102)	36.3	12.7	19.6	35.3	15.7	2.9	3.9	7.8	5.9	7.8

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は三世代家族（41.3%）が4割強、二世世代家族（40.5%）が4割と高くなっている。「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（38.2%）が4割近くと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 同居世帯の構成別

単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 壁に傷をつ けることが できないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない、 または固 定するのが 難しいか ら	地震が起 きても転 倒・落下 等しない、 または転 倒・落下 等しても 危険では ないと思 うから	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
全体 (n=1140)		37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=267)	33.7	38.2	18.7	23.2	18.7	12.7	4.9	4.5	5.6	3.0
	夫婦のみ (n=281)	37.0	26.3	24.6	17.1	17.4	6.0	9.3	7.1	6.4	2.8
	二世世代家族 (n=459)	40.5	17.6	28.8	20.9	19.2	7.2	10.0	5.0	7.0	2.0
	三世代家族 (n=46)	41.3	8.7	23.9	32.6	19.6	13.0	23.9	6.5	6.5	2.2
	その他 (n=62)	32.3	24.2	17.7	17.7	11.3	12.9	4.8	4.8	9.7	3.2

ライフステージ別でみると、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（47.1%）が4割半ばを超えて高くなっている。「設置が面倒だから」は家族成長前期（30.4%）が3割、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は高齢期（一人暮らし）（29.2%）が3割弱と高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 ライフステージ別

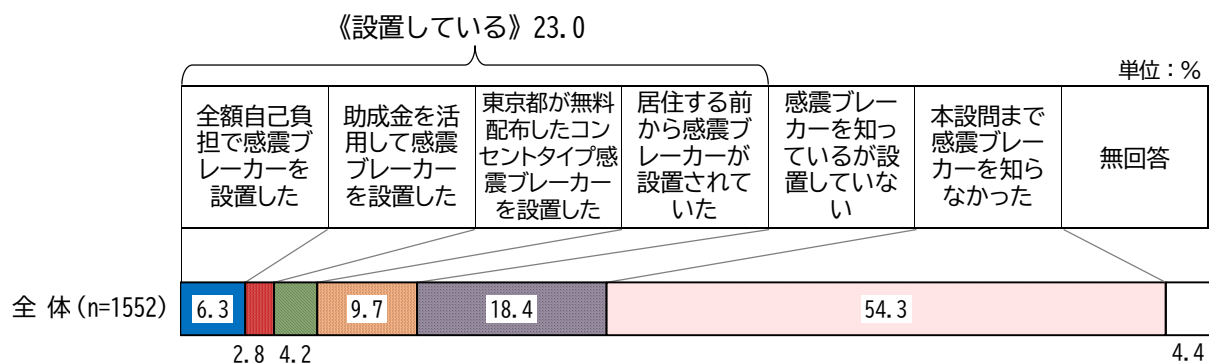
単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 壁に傷をつ けることが できないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない 、または 固定する のが難し いから	地震が起 きても転 倒・落下 等しない 、または 転倒・落 下等し ても危険 ではない と思うか ら	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
	全体 (n=1140)	37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
ライフ ステー ジ別	家族形成期 (n=145)	40.0	38.6	26.2	17.2	14.5	8.3	7.6	2.1	2.8	1.4
	家族成長前期 (n=92)	42.4	17.4	30.4	23.9	21.7	5.4	17.4	2.2	6.5	1.1
	家族成長後期 (n=80)	40.0	13.8	27.5	17.5	21.3	13.8	13.8	1.3	7.5	2.5
	家族成熟期 (n=89)	41.6	22.5	24.7	16.9	15.7	5.6	12.4	5.6	6.7	1.1
	高齢期 (n=167)	41.3	10.2	24.0	26.9	18.6	6.6	7.8	10.8	4.8	4.8
	高齢期(一人暮らし) (n=106)	38.7	27.4	17.9	29.2	21.7	11.3	5.7	4.7	2.8	5.7
	一人暮らし (n=153)	29.4	47.1	19.6	17.6	17.6	13.7	4.6	3.9	7.8	1.3
	その他 (n=308)	34.1	18.8	26.0	19.2	17.2	7.5	7.8	7.5	10.1	2.6

#### (4) 感震ブレーカーの設置状況

◇《設置している》は2割強

問 12 地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。(○は1つだけ)

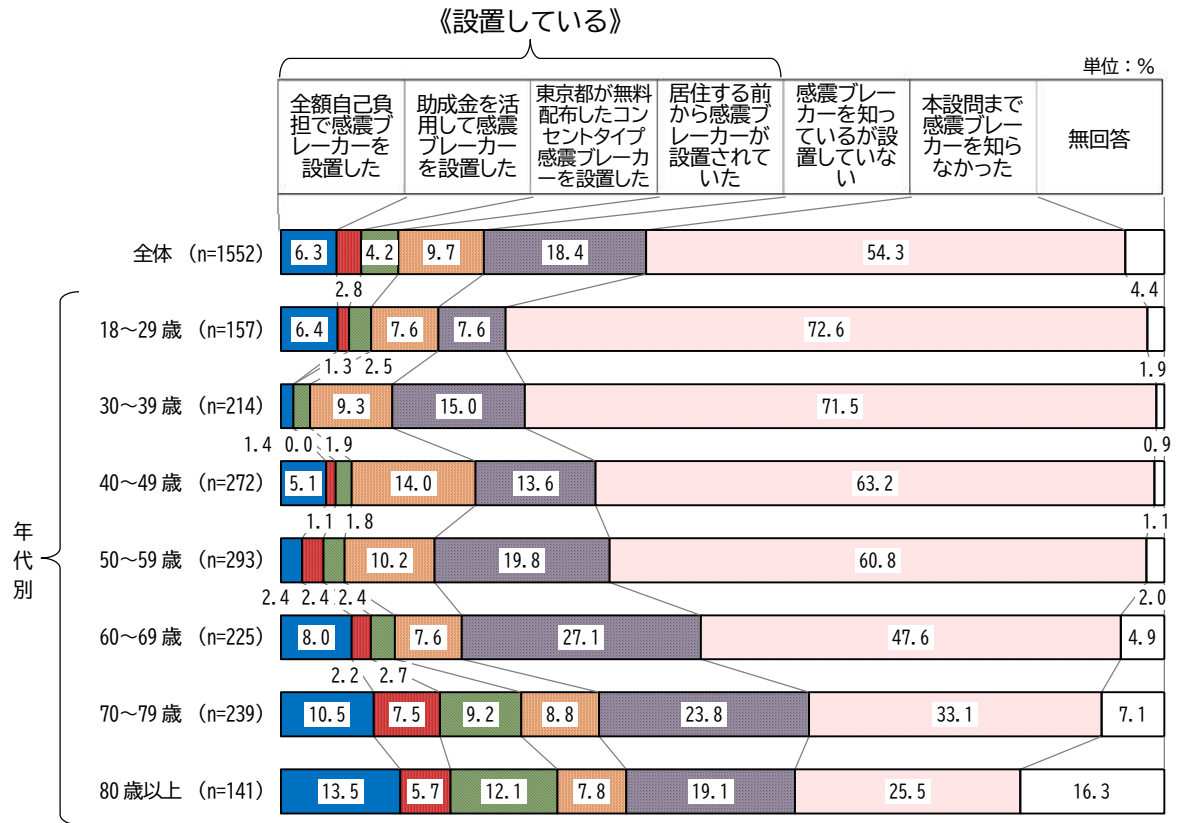


(注) 《設置している》＝「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」＋「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」＋「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」＋「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」

感震ブレーカーの設置状況について聞いたところ、「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(6.3%)と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(2.8%)と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」(4.2%)と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(9.7%)を合わせた《設置している》(23.0%)は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」(18.4%)は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」(54.3%)が5割を占める。

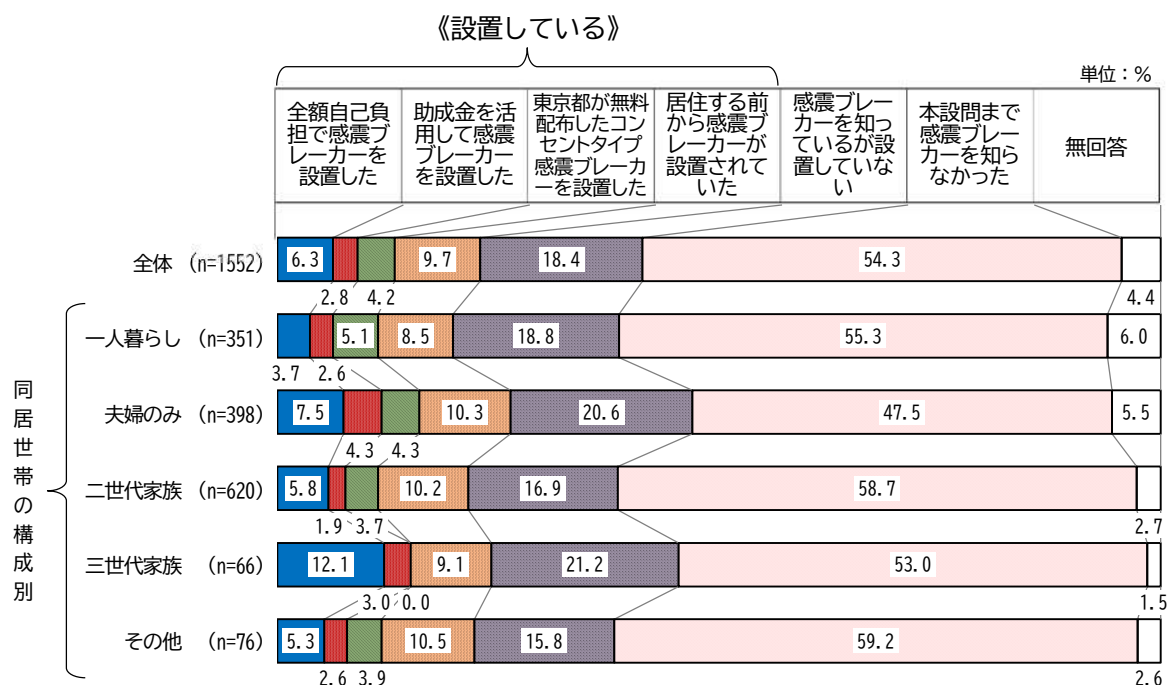
年代別でみると、《設置している》は80歳以上（39.1%）が4割弱と最も高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は年齢層が低くなるほど割合が高くなっており、18～29歳（72.6%）では7割強となっている。

### 感震ブレーカーの設置状況 年代別



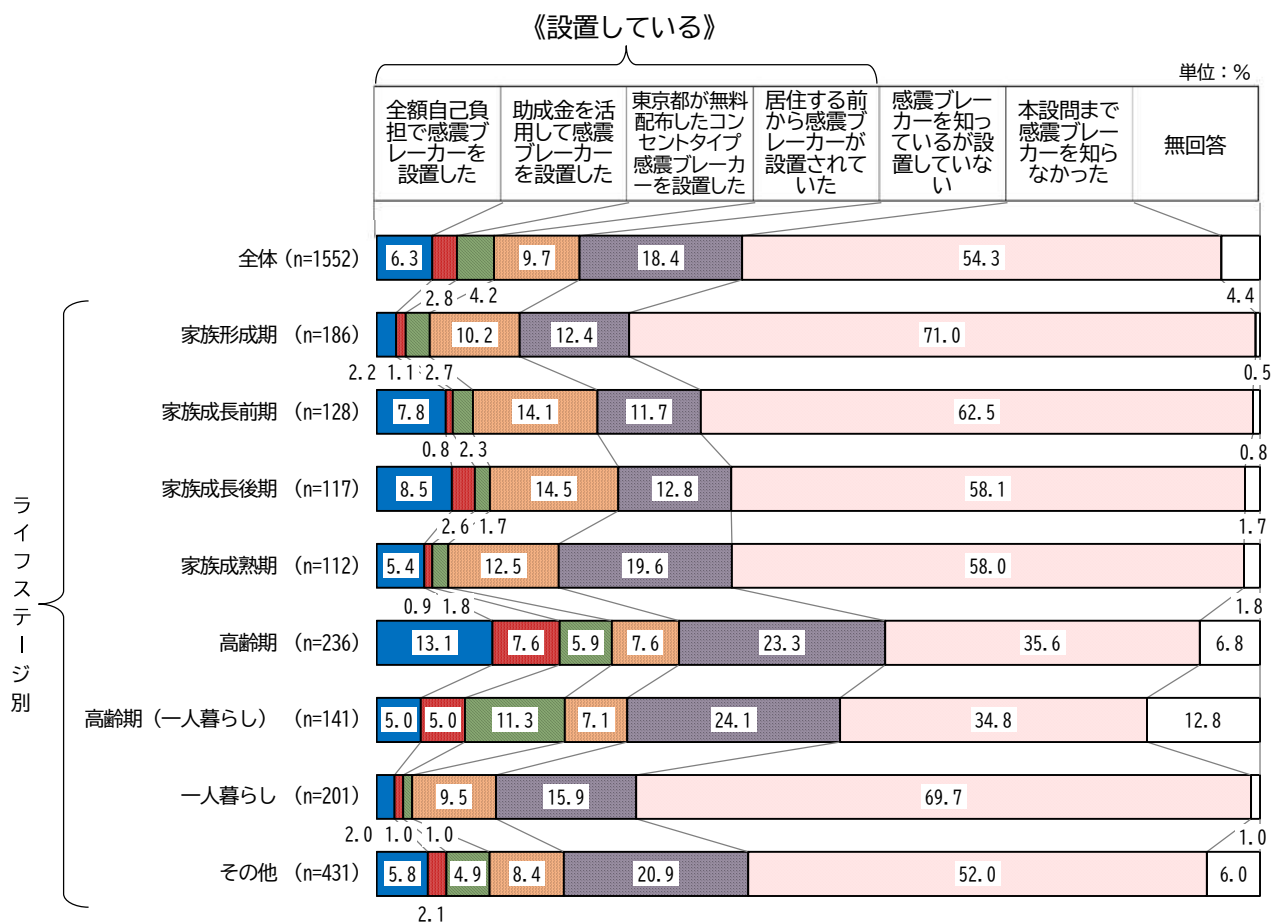
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は夫婦のみ（26.4%）が2割半ばを超えて最も高く、次いで三世代家族（24.2%）が2割半ば近くとなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は夫婦のみ（47.5%）を除くすべての世帯で5割台となっている。

### 感震ブレーカーの設置状況 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は高齢期（34.2%）が3割半ば近くと最も高く、次いで高齢期（一人暮らし）（28.4%）が3割近くと高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」では家族形成期（71.0%）が7割強と最も高く、次いで一人暮らし（69.7%）が7割弱となっている。

### 感震ブレーカーの設置状況 ライフステージ別

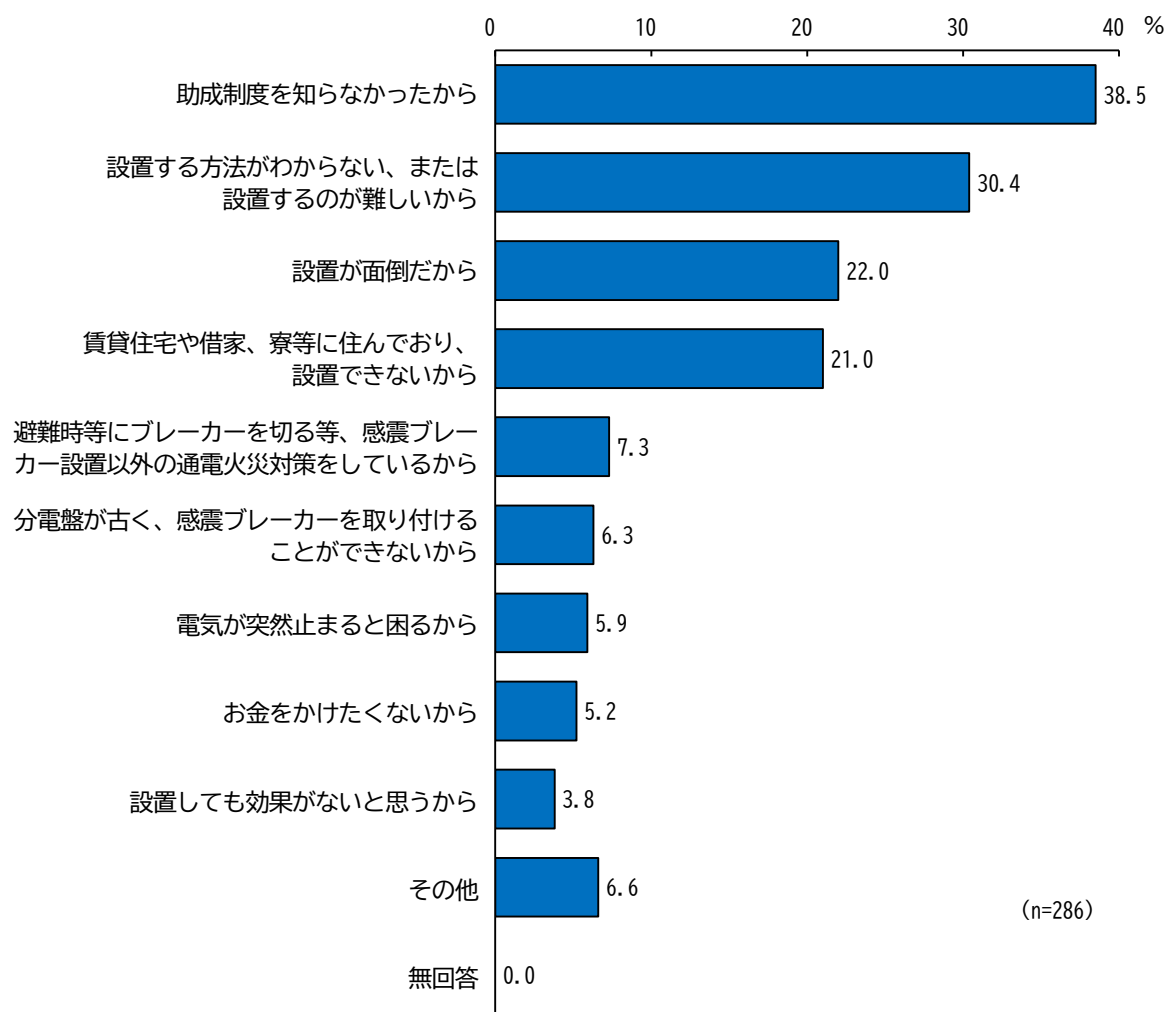


#### (4-1) 感震ブレーカーの未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問12-1 (問12で「5」とお答えの方に伺います)

荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円(条件有)の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。(〇はいくつでも)



感震ブレーカーの未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(38.5%)が4割近くと最も高く、以下、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」(30.4%)、「設置が面倒だから」(22.0%)、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」(21.0%)が続いている。



年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は80歳以上（63.0%）が6割を超え最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は80歳以上（44.4%）と70～79歳（40.4%）が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は40～49歳（35.1%）が3割半ばと高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 年代別

単位：％

		助成制度 を知らな かったか ら	設置する 方法がわ からない、 または設 置するの が難しい から	設置が面 倒だから	賃貸住宅 や借家、寮 等に住ん でおり、設 置できな いから	避難時等 にブレー カーを切 る等、感震 ブレー カー設置 以外の通 電火災対 策をして いるから	分電盤が 古く、感震 ブレー カーを取 り付ける ことがで きないか ら	電気が突 然止まる と困るか ら	お金をか けたくな いから	設置して も効果が ないと思 うから
全体（n=286）		38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
年代別	18～29歳（n=12）	33.3	8.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	30～39歳（n=32）	31.3	31.3	25.0	28.1	3.1	0.0	9.4	6.3	3.1
	40～49歳（n=37）	32.4	32.4	18.9	35.1	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7
	50～59歳（n=58）	32.8	24.1	24.1	22.4	1.7	1.7	3.4	8.6	3.4
	60～69歳（n=61）	37.7	23.0	21.3	13.1	9.8	11.5	6.6	3.3	8.2
	70～79歳（n=57）	43.9	40.4	22.8	17.5	17.5	5.3	8.8	3.5	1.8
	80歳以上（n=27）	63.0	44.4	18.5	14.8	0.0	14.8	7.4	7.4	0.0

	その他	無回答
全体（n=286）	6.6	0.0
年代別	18～29歳（n=12）	0.0
	30～39歳（n=32）	3.1
	40～49歳（n=37）	10.8
	50～59歳（n=58）	10.3
	60～69歳（n=61）	6.6
	70～79歳（n=57）	3.5
	80歳以上（n=27）	7.4

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は夫婦のみ（48.8%）が5割近く、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は三世代家族（57.1%）が6割近くとなっている。

### 感震ブレーカーの未設置理由 同居世帯の構成別

単位：%

	助成制度を知らなかったから	設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから	設置が面倒だから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	電気が突然止まると困るから	お金をかけたくないから	設置しても効果がないと思うから
全体（n=286）	38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
同居世帯の構成別									
一人暮らし（n=66）	25.8	22.7	15.2	31.8	13.6	6.1	7.6	4.5	6.1
夫婦のみ（n=82）	48.8	20.7	23.2	23.2	4.9	8.5	7.3	3.7	0.0
二世代家族（n=105）	39.0	37.1	23.8	11.4	6.7	3.8	5.7	6.7	4.8
三世代家族（n=14）	35.7	57.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3
その他（n=12）	33.3	41.7	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体（n=286）	6.6	0.0
同居世帯の構成別		
一人暮らし（n=66）	3.0	0.0
夫婦のみ（n=82）	4.9	0.0
二世代家族（n=105）	9.5	0.0
三世代家族（n=14）	21.4	0.0
その他（n=12）	0.0	0.0

ライフステージ別でみると、「助成制度を知らなかったから」は高齢期（60.0%）が6割と最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は家族成長前期（40.0%）と家族成長後期（40.0%）が4割、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は一人暮らし（40.6%）が4割と高くなっている。「避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから」は高齢期（一人暮らし）（20.6%）が2割と高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 ライフステージ別

単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	設置する 方法がわ からない、 または設 置するの が難しい から	設置が面 倒だから	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 設置でき ないから	避難時等 にブレー カーを切 る等、感 震ブレー カー設置 以外の通 電火災対 策をして いるから	分電盤が 古く、感 震ブレー カーを取 り付ける ことがで きないか ら	電気が突 然止まる と困るか ら	お金をか けたくな いから	設置して も効果が ないと思 うから
	全体（n=286）	38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
ライフ ステー ジ別	家族形成期（n=23）	26.1	34.8	17.4	34.8	0.0	0.0	4.3	8.7	4.3
	家族成長前期（n=15）	20.0	40.0	26.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族成長後期（n=15）	20.0	40.0	20.0	20.0	6.7	0.0	6.7	6.7	20.0
	家族成熟期（n=22）	27.3	36.4	22.7	22.7	4.5	4.5	0.0	4.5	9.1
	高齢期（n=55）	60.0	38.2	21.8	5.5	9.1	9.1	5.5	1.8	1.8
	高齢期（一人暮らし）（n=34）	32.4	29.4	8.8	23.5	20.6	8.8	8.8	5.9	8.8
	一人暮らし（n=32）	18.8	15.6	21.9	40.6	6.3	3.1	6.3	3.1	3.1
	その他（n=90）	46.7	25.6	27.8	21.1	4.4	8.9	7.8	7.8	0.0

		その他	無回答
全体（n=286）		6.6	0.0
ライフ ステー ジ別	家族形成期（n=23）	8.7	0.0
	家族成長前期（n=15）	20.0	0.0
	家族成長後期（n=15）	6.7	0.0
	家族成熟期（n=22）	18.2	0.0
	高齢期（n=55）	3.6	0.0
	高齢期（一人暮らし）（n=34）	2.9	0.0
	一人暮らし（n=32）	3.1	0.0
	その他（n=90）	5.6	0.0